



保健センターだより がん検診特集号 ～ みんなで受けよう！ がん検診！！ ～

前編

みなさん、がん検診を受けていらっしゃいますか？

日本人のがんにかかる人は年々増えています。しかし、がん検診の受診率はほとんど増えていません。それどころか、八百津町では最近減少傾向です(町の検診受診状況より)。「特定健診を受けたから大丈夫」と思っているあなた。特定健診はがん検診ではありません。「精密検査が出ると怖いから」というあなた。医療技術は日々進歩しており、早期発見できれば治療が可能です。まずは一度、がん検診を受けましょう！

『がん検診 愛する家族への 贈りもの』



大腸がん

食生活の欧米化などにより大腸がんは増え続けていて、2020年には日本人のがん患者数の中で、大腸がんが1位になると予測されています。

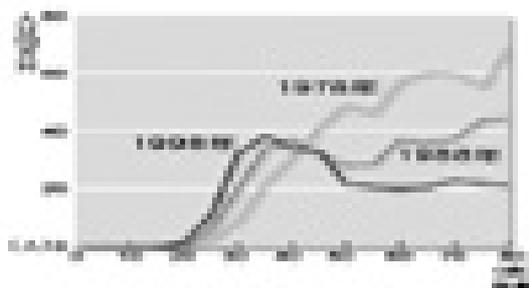
八百津町で行っている大腸がん検診受診者では過去10年で26人に大腸がんが見つかっています。また大腸がんで亡くなった人は過去10年で53人に及びます。

大腸がんのリスクは40歳代から高まります。40歳を過ぎたら検査を受けましょう。自宅でできる検便(便潜血検査)です。

子宮頸がん

子宮頸がんの原因はHPV(ヒト・パピローマウイルス)であることがはっきりしてきました。いわば感染症です。予防接種が話題になっていますが、それだけでは予防できません。予防接種を受けていても20歳を過ぎたら2年に1回の検査をお勧めします。特に20代・30代の出産年齢の方に受けていただきたいのです。

子宮頸がん罹患患者数の変化



乳がん

女性がかかるがんで最も多いのが乳がんです。八百津町では過去10年で9人の方が乳がんで亡くなっています。しかも最近5年の検診で、6人に乳がんが見つかっていますが、早期発見できれば治るがんなのです。

40歳を過ぎたら2年に1回の検査をお勧めします。また、自己検診も大切です。



八百津町では40歳以上の方(子宮頸がんは20歳以上・前立腺がんは50歳以上)を対象に各種がん検診を行っています。しかし、40～50歳代の方の受診率が低いのが心配です。がんは年齢に関係なく忍び寄ります。症状のないうちに「がん」を早期発見し、治療することが大切です。

そのため大切なことがもう一つ。「要精密検査」という通知が来たら必ず精密検査を受けましょう。要精密検査者のうち「がん」が発見されるのは約1～5%です(がんの種類により異なります)。がん以外の疾患が発見されることもあります。